

ジャナジョティ小学校での挨拶（要旨）1月2日（金）

ジャナジョティ小学校の生徒の皆さん、先生方、保護者の皆さん、私は、江戸川区立第六葛西小学校長、伊藤辰久です。私は、二年ぶりに、ナラヤン校長先生をはじめ、ジャナジョティ小学校の皆さんとお会いできることを最上の喜びと感じています。

2006年12月28日に訪問した際に、校舎改築起工式に立ち会いました。その後のおたよりで新校舎が完成し、図書室や高等学校コース、幼稚園コースが新設され、教育環境が大いに整備され、図書室には「六葛西小文庫」も設置されたことを知りました。また、国の指定を受けたコンピューター室の整備も学校の努力でされたことを知りました。第六葛西小学校の援助もその助けになっていると聞き、私だけでなく、第六葛西小学校の子どもたちや保護者・地域の関係者もとても喜んでいきます。

図書室ができたことは、生徒の皆さんの学習を進めるに当たって大きな力となることでしょう。読書だけでなく、調べ学習などでも大いに役立つこととなります。第六葛西小学校でも図書室の整備に力を入れてきました。読書活動を活発に進めることについて、ジャナジョティ小学校と第六葛西小学校が同じ思いであることに喜びを感じます。今回、皆様へ日本の絵本や学習に役立つ本などを入れてきました。図書室においていただければ幸いに存じます。

ジャナジョティ小学校の生徒の皆さん

ここで少し第六葛西小学校の子どもたちの様子について紹介します。

第六葛西小学校の子どもは、700名です。1年生だけでも131名もいます。クラスは、全部で20クラスあります。学校では、子どもたちは、ジャナジョティ小学校の生徒と同じで、明るくて元気いっぱい一生懸命勉強や学校生活に取り組んでいます。

11月1日は、第六葛西小学校の「ネパール姉妹校記念日」です。この記念日を中心にネパールに関わる取り組みがされています。毎年、「ネパールとジャナジョティ小学校のことを知るための集会」を開催してきました。今年は、集会の他に、3年生は「ネパールの食事について」調べ、「チャイ」を飲んだりして楽しみました。4年生は、インターネットを使って「ネパールの衣・食・住」について調べ、5年生は、「ネパールの産業について」、6年生は、海外青年協力隊の隊員を招いて「ネパールの国際協力」などについて学習し、ネパールやジャナジョティ小学校についての理解を深める努力をしています。

また、子どもたちに呼びかけ「ネパール姉妹校友好ポスターコンクール」も行いました。今日のお土産の中にその作品も入っています。日本の子どもたちの絵の作品を見てください。

六葛西小学校の子どもたちのことを『ろくっこ』と愛称で呼んでいます。11月8日には『ろくっこまつり』という子どもの祭りが開かれ、ネパール姉妹校の支援のためのバザ・や募金の活動も取り組まれ、今年は駐日ネパール大使館より、ドウルガ・バハドール・スベディ公使ご夫妻もおいいただきました。「ポスターコンクール」の入賞者への賞品をいただきました。

今回の訪問にあたり、本校の子どもたちは、ジャナジョティ小学校支援の文房具のプレゼントに取り組みました。「ジャナジョティ小学校のお友達に文房具を送ろう。エンピツや消しゴム、定規など、みんなで集めよう」と、子どもたちに呼びかけました。日本の音楽の時間に使っている楽器

に「リコーダー」という笛があります。あとで演奏を披露しますが、今回のプレゼントに入れてあります。それも学習の用に使っていただければと思います。また、折り紙もたくさん持ってきました。作り方の本もあります。日本語で書いてありますが見れば折り方がわかります。その集まった文房具やリコーダー、折り紙などを私たち22名の訪問団に託してくれました。今日ここにお持ちしました。その品もあとで受けとってください。

ジャナジョティ小学校の生徒の皆さん、先生方、保護者の皆さん

1995年11月、私の学校、第六葛西小学校とジャナジョティ小学校が姉妹校交流の協定を締結しました。それ以来13年間、私と私の学校の教職員、子どもたち、保護者、学校を支援してくださいます地域の方々は、この姉妹校交流を瞳のように大事にしてきました。

ジャナジョティ小学校との姉妹校交流を進めるために、本校では、学校関係者だけでなく保護者の代表や地域の代表者を含めた「ネパ - ル姉妹校委員会」がつくられ、姉妹校交流の運営に当たっています。

そして姉妹校の協定は、6年ごとに見直すことになっています。昨年で第2期、12年間の姉妹校協定期間が過ぎました。私たち第六葛西小学校「ネパール姉妹校委員会」としては、この姉妹校交流を中断することなく第3期、2013年まで継続していくことを決めています。。

姉妹校交流は、本校の子どもたちの心に、自分の国以外の国と交流することで、その国の生活や文化、風俗などを理解し、尊重する心情を養うことになり、そのことはとりまなおさず自国を愛し、自国の文化や生活をいっそうよりよくしていこうとする精神の育成につながり、国際感覚あふれる子どもを育てることに繋がっています。

また、私の国では、国と国との紛争は武力でなく、平和的に解決することを第一とし、軍隊を廃止する事を憲法で決めています。子どもたちも学校でこのことを学習しています。平和が継続しているからこそ発展もあり、安心して他の国への支援もできるのです。

13年を経過した姉妹校交流。ジャナジョティ小学校と第六葛西小学校の交流は、ネパ - ルと日本国の友好・親善に役だつだけでなく、国際的な平和に寄与する事に繋がるものであることと確信します。今後も大事に継続をしていきたいと考えております。

この13年間、ジャナジョティ小学校から3回、第六葛西小学校に来ていただきました。第六葛西小学校からは、今回で5回目のジャナジョティ小学校の訪問となりました。いつも友好的に歓迎していただき感謝でいっぱいです。両校のきずながいっそう深まることを願っています。

また、この間、両校の友好な関係を進めるためにご理解・ご協力をいただきましたウッタム・カルマチャリアさんに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

ジャナジョティ小学校及び関係者の皆さん、本日は、このような場を設けていただきましてありがとうございました。

最後に今年度の支援金10万円をナラヤン校長先生にお渡ししたいと思います。「六葛西小文庫」の充実のために活用してください。ナラヤン校長先生、前にお願ひします。

(支援金手交後)これで私の挨拶とさせていただきます。 ナマステ。